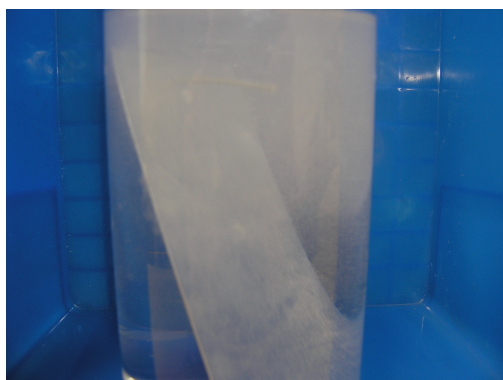


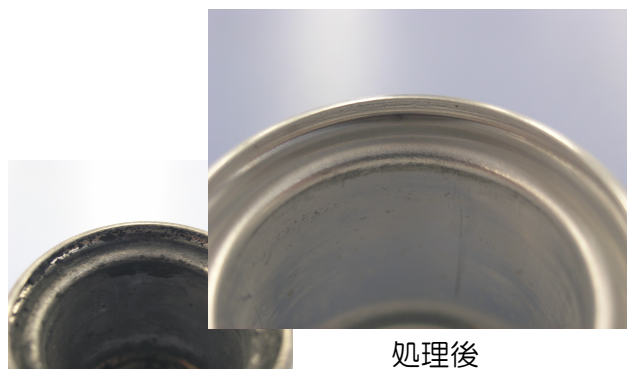
バフかす除去剤

バフクリーン

アルミ素地の光沢を損なう事なく、表層部を均一に溶解させ、反応泡によるバブリングとの相乗効果でバフ粉（油）を除去します。よって、アルミ素地に食い込んだバフ粉の除去も可能になりました。
ピカ1 化学研磨処理の前処理として最適です。



バフ粉剥離の様子



処理前

処理後

処理条件

	標準条件	適性範囲
濃度	200mL / L	150~250mL / L
液温	50℃	40~80℃
処理時間	3min	1~5min

処理槽：SUS304

加温装置：石英ヒーター、SUS 蒸気配管

攪拌装置：エアー攪拌を推奨

超音波洗浄の併用も可能です。

硫酸ガス・ミストの発生が無く、スクラバーは不要です。

PRTR 法、毒物劇物取締法、消防法に非該当です。

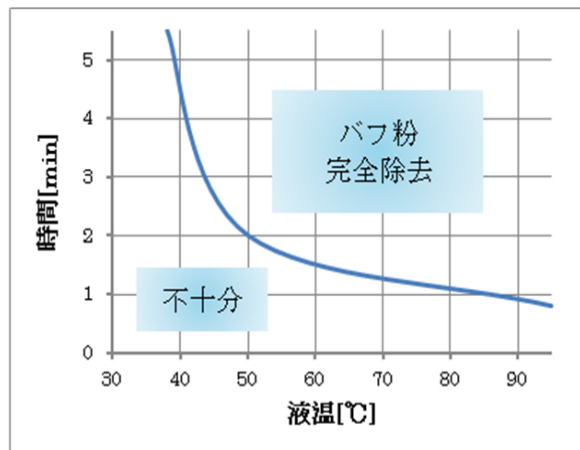
硫酸系の除去剤と異なり、Ti・SUS を殆ど溶解しません。Ti 治具、SUS 配管・槽も利用できます。

バフ粉は、浮遊することなく、液に溶解します。

液温と処理時間の関係は、グラフのようになります。液温が高いほど、短時間で処理可能です。

40℃以下の場合、バフ粉の軟化は、進みますが、除去効果は不十分です。

材質によっては、スマットが発生しますので、スマットクリーン等により、除去する必要があります。



液温と処理時間の関係

液管理

比重(濃度)管理のみで分析は不要です。表を参考に濃度調整を行ってください。

日常の作業として、液面低下の液補充を行ってください。

比重と濃度の関係

濃度	150mL/L	175mL/L	200mL/L	225mL/L	250mL/L
比重 80℃	1.072	1.084	1.096	1.108	1.120
比重 70℃	1.076	1.088	1.101	1.113	1.125
比重 60℃	1.080	1.092	1.106	1.118	1.130
比重 50℃	1.084	1.098	1.111	1.123	1.135
判断	薄い	標準			濃い

原液：1.58(at25℃)

入り目

20kg ポリ容器

※ 本製品のご使用に際しましては、必ず安全データシート（SDS：RM1083）を精読・検討の上ご利用下さいます様 お願い申し上げます。



製造元

ライキ株式会社（来嬉）

〒340-0002

埼玉県草加市青柳 1-5-41

TEL.048-933-1670 代

FAX.048-933-1677

<http://www.raiki.co.jp>